

ワークショップ（旗揚げ方式ディスカッション）

◇趣旨・目的：

人生二毛作推進県民会議参加の皆さんが、それぞれの立場で新型コロナウイルス感染症拡大をどのように受けとめ、予防に配慮しながら事業推進を図ったかについて議論を深める。ディスカッションをつうじて、日頃からのネットワークや関係づくりの意味、コロナ後の新たな事業推進の可能性などについて学び合う機会とする。

・・・・・・・・・・・・・・・・

（あなたの考えや気持ちに一番近い選択肢の色紙を1つ選んで挙げてください）

◇設問1：事業実施に当たって、あなたはコロナ禍をどのように受け止めましたか？

- 選択肢：[①赤] どうなるか、先が見えずとても不安だった（うろたえた）。
[②青] これまで通り実施ししなければと思った（使命感）。
[③黄] 事業実施のために、積極的に工夫しようと思った（燃えた）。
[④緑] 危機感をあまり感じなかった（他人事）。
[⑤白] その他

◇設問2：コロナ禍での事業実施に当たって、何を重要と考え、どのような行動を起こしましたか？

- 選択肢：[①赤] 正しい知識を得るため、学習の機会を持った。
[②青] これまでのネットワーク・関係を活かして情報収集をした。
[③黄] 話を重ね、可能な予防対策をして事業を進めた。
[④緑] 感染拡大を防ぐため、休止・中止した。
[⑤白] その他

◇設問3：コロナ後の事業実施について、どう考えますか？

- 選択肢：[①赤] 従来どおり実施する。
[②青] これまでの事業内容を見直し、オンラインの活用など実施方法工夫する。
[③黄] 多様な機関・事業所・団体との日常的なネットワークや関係づくりを充実させる。
[④緑] コロナ禍から生まれた新たな課題に対処するため、新規事業を立ち上げる。
[⑤白] その他